

# 公益財団法人 **オイスカ FURUSATO!** 3月号

～オイスカ四国のふるさとづくり～

## 2024年度 地域開発研修生の紹介



**Ms. MAUSA VASITI (トウイ)**

(フィジー)

好きな食べ物 (とり肉)  
日本で勉強したいこと (日本語・農業)

とり肉が  
一番美味しい!



日本のラーメン  
めっちゃ美味しい!

**Ms. NOER AMALIA AAM (アアム)**

(インドネシア)

好きな食べ物 (ラーメン)  
日本で勉強したいこと (日本語・食品加工)



**Ms. SEVERINUS SHERLYNIE SEVRINA (シェロン)**

(マレーシア)

好きな食べ物 (ナシレマク)  
日本で勉強したいこと (日本語・養鶏)

マレーシアの  
日常料理!



マレーシアの  
定番料理! **Mr. JULIUS JOEL ALLYSON (ジョエル)**

(マレーシア)

好きな食べ物 (ナシゴレン)  
日本で勉強したいこと (日本語・日本文化・養鶏)



**Ms. OLAYA TRUJILLO NANCY (ナンシー)**

(メキシコ)

好きな食べ物 (タコス)  
日本で勉強したいこと (日本語・農業)

メキシコの  
代表料理!



お茶の葉サラダ  
とても辛い!



**Mr. PYAE PHYO AUNG (ピョー)**

好きな食べ物 (ラペ) (ミャンマー)

日本で勉強したいこと (稲作・畑作)



## 令和6年度基礎研修修了式・歓迎茶会のご案内

今年の2月、新たに5カ国6名の研修生が入所し2か月間、日本語や日本文化・習慣などを学んでいます。来たる3月30日に、皆様方へのご挨拶と歓迎会を兼ねた基礎研修修了式を開催しますので、是非ともご出席を賜りますようご案内申し上げます。(所長)

【日時】：2024年3月30日(土) 14:00～

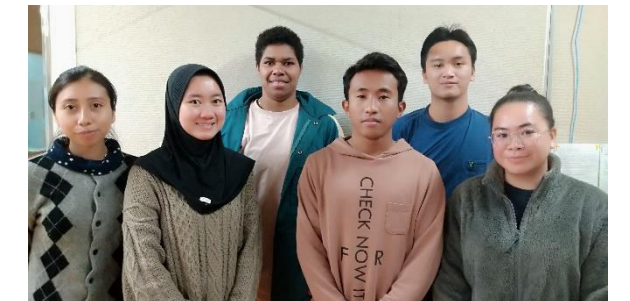
【会場】：オイスカ四国研修センター

【参加】：無料

【問合せ】：087-876-3333



皆様のご参加、  
心よりお待ちしております!



「私たちに会いに来てくれると嬉しいです!」

## インターン生の紹介



[村上幸さん：写真左奥]

香川大学教育学部1年 村上幸(むらかみ ゆき)です。2月、3月とオイスカ四国研修センターでインターン活動をさせていただいています。

もともと環境問題について興味が有り、より深く学んでみたいと思いインターンに参加しました。

オイスカでは、日本に来ている研修生の方と関わる機会が多く、とても刺激になっています。(インターン 村上)

## 3,4月の予定

日	イベント名	場所	日	イベント名	場所
6日	支部常任幹事会	四国研修センター	30日	研修生 基礎研修修了式/歓迎茶会	四国研修センター
12日	防犯交通安全教室	四国研修センター	4月 3日	支部常任幹事会	四国研修センター
22日	坂出チャリティゴルフコンペ	高松カントリー倶楽部			

「FURUSATO!」3月号 発行  
公益財団法人 オイスカ四国研修センター  
〒761-2103 香川県綾歌郡綾川町陶 5179-1  
TEL 087-876-3333 FAX 087-876-3334  
E-mail: oiscastc@oisca.org





# 綾川町民綱引き大会に参加

2024年2月25日、「梅の里フィスティバル第16回 綾川町民綱引き大会」が綾川町総合運動公園体育館で開催されました。

私たち職員と研修生は、成人の部（男女混合の部）に参加しました。予選で相手チームに惜しくも負けてしまいましたが、負けたチームどうしの戦いで1回勝ちました。地域開発研修生にとっては、初めて地元である綾川町の人々と触れ合うことができる良い経験となりました。

来年は、強い気持ちとチームワークを持ったグループを作り、決勝に進出できることを願っています。オイスカ ファイト ファイト ファイト！ (デニス)



「職員と研修生で一致団結して頑張りましたが…結果は報われず…」



## 現地からの便り ~2022年研修生 OG サライ(メキシコ)~

私は、メキシコに帰国してからオイスカメキシコで様々な活動をしています。ふるさとの学校で子供たちに農業、環境問題の事を教えています。子供に教えるのはとても楽しく、大好きです。もちろん、オイスカについても話をします。私はこの活動を継続して、アグロエコロジーの専門家になりたいです。

日本のオイスカで一番良かった事は点呼をすることです。そして様々な国の友達と出会えた事も良かったです。日本はとてもきれいな国で、そんな日本で研修できたことは、オイスカにとっても感謝しています。いつかまた、日本のマラソンに参加したいと思います！ (サライ)



「農業×環境！」



「オイスカについての説明をします！」



「学校で子供たちに環境について教えます！」

# 海岸林再生プロジェクトに参加

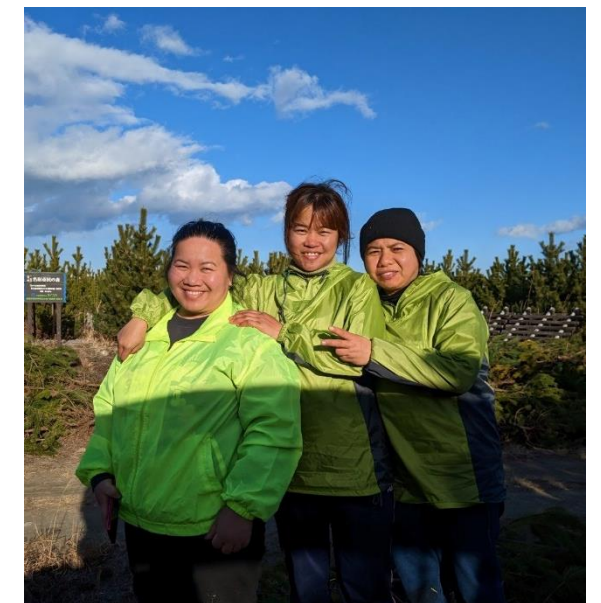
オイスカの海岸林再生プロジェクトは、私が研修生の時代（2011年）から知っていて、何度か参加したいと考えた事があります。海岸林再生プロジェクトの代表者に参加したいと話をして、可能であればオイスカ国内の研修センターで働く外国人女性スタッフと一緒に参加させてくださいと話しました。その結果、1月24日～26日の2泊3日で参加することができました。

飛行機が仙台空港に着陸した時、窓から松林が見えて、面積の広さが良く分かりました。初日は、海岸林再生プロジェクトの現場で説明をしてもらい、作業場に行って、間伐をしました。多くのボランティアと一緒に作業しながら、交流も出来ました。これまでは、環境が私たち（人間）を守ってくれていましたが、ここでは人が松を管理しながら、松の成長を見守ります。松が成長したら、今度は、松が私たちの土地を守ってくれる存在になるので、とても良いサイクルだと思います。

今回、多くの学びを与えていただき本当に感謝しています。オイスカの活動から、「人と人をつなぐ」「環境と人をつなぐ」そして、「プロジェクトのやり方」を学びました。チャンスがあれば是非また行きたいです。 (ガディ)



「クロマツの重要性を知りました！」



「外国人女性スタッフでの交流」

## オイスカスリランカ訪問



オイスカスリランカと言ったらこの人！

オイスカスリランカ事務局長

AMCKB アラハコーン氏

今回、NGO インターン・プログラム（若手人材の育成を通じて日本のNGOとの連携による国際協力を拡充・強化するため、インターン育成をNGOに委託し、育成にかかる一定の経費を支給する制度）を通して、オイスカスリランカで1カ月間、活動をして参りました。主に、「子供の森」計画と環境教育の講演を行いました。

オイスカスリランカでは、研修センターはあるものの、現在、研修生はいません。それは、国内の経済状況の悪化が強く影響していると私は考えています。そのため、「子供の森」計画が主な活動になっており、活動をサポートしてくれるOBたちと一緒に学校訪問を行いました。また、オイスカスリランカでは、学校菜園活動の普及も行っており、液肥づくりのワークショップを開催しました。現地に根づくより良い活動だと思い、オイスカの良さを再認識しました。 (山崎)



「オイスカスリランカ研修センター」



「青草液肥の作り方を伝授」